

特許抄録

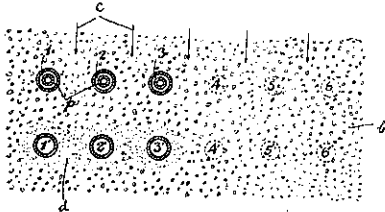
第 21 卷第 6 號 昭和 10 年 6 月

セメント乳注入法

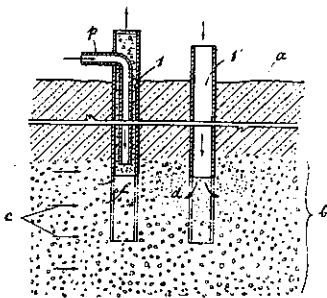
(特許第 109905 號 出願 9-3-22)
(特許権者 (發明者) 鹽田岩治)

此の發明は、地表より地下の流水層に達する迄、地下流れの方向と略直角をなす方向に於て、2 列に數個の鑿孔 (1, 2, 3 及 1', 2', 3') を行ひ、其の 2 列の中、上流側の列の各孔 (1, 2, 3) 内の水を適當の汲揚装置 (例へばエア、リフトの方法) に依つて、その孔底附近を濁水状態とし、其の downstream 側の列の各孔 (1', 2', 3') にセメント乳を壓入して、其の底部附近一帯に、セメントを凝固せしむる方法であつて、之に依りセメントの凝固を確實にし、操作を簡單迅速ならしめようとするものである (第 1 圖, 第 2 圖参照)。

第 1 圖



第 2 圖



地耐壓測定法

(特許第 109912 號 出願 9-9-7)
(特許権者 (發明者) 鹽田岩治)

此の發明は、粘土層及び砂層等の耐壓力を従来の信頼し難き各種計算法に比して正確且つ迅速に測知する方法を目的としたものであつて、廻轉式掘鑿機に對し、

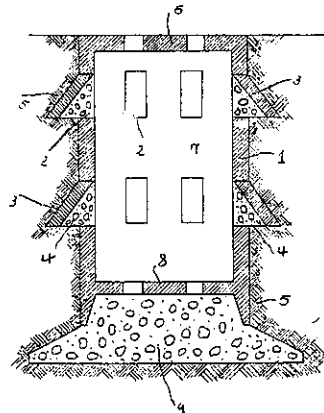
廻轉式壓入地質採取器を附した掘鑿機の重量と常に平衡する装置及びその掘鑿機の壓入力を一定ならしむる装置を施して、或る地層の掘進度を測定すると共に、其の地層の荷重試験、水分の含有率、並に土砂粒子の大きさ及び其の含有割合の測定を行ひ、以上の測定數字を以て一つの標準試料とし、以下他の數地層に於ても同様の測定を行つて、各種の層の標準試料を得た後、前記の廻轉式掘鑿機を用ひて、所要地層の掘進度を測定すると共に、其の地層の含水率並に土砂粒子の大きさ及び其の含有割合を測定し、之等の測定數字を前記の標準試料と比較して其の地層の耐壓力を定むる方法である。

基礎工事方法

(特許第 109919 號 出願 9-5-17)
(特許権者 (發明者) 柳生義郎)

此の發明は、掘鑿沈下せんとする基礎軀體の側壁に數個の透窓を開設して、之を沈下し、其の透窓より體外に支持體を突出せしめて、然る後基礎軀體の底部を掘擴げ、コンクリートを充填凝化せしむる基礎工事方法であつて、軀體の重量を上層地盤に依り支持せしめて軀體落下の憂なからしめた後、軀體底部を掘るが故にその掘擴げ面積を廣大にし得るものである (第 3 圖参照)。

第 3 圖

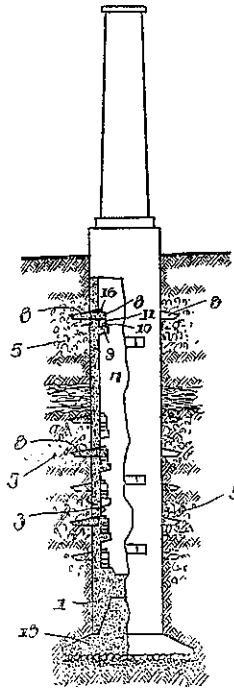
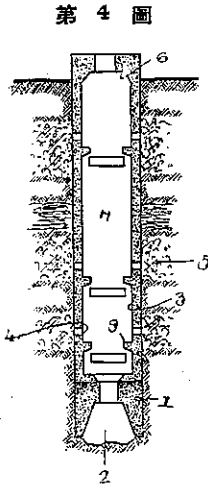


突桁杭に依り支持面を形成する 基礎體の築造方法

(特許第 109954 號 出願 9-6-13)
(特許權者 (發明者) 柳生義郎)

此の發明は、潜函類 (1) を沈下せしめ、之の沈下に伴ひ、其の潜函數と外徑略同一の中空基礎體 (3) を築造し、其の築造過程に於て、地質調査の結果判明せる地盤の良好なる場所に相當する所に豫め其の基礎體に透孔 (4) を穿ち、之が所定の深さに達したる後は、中空基礎體の天井を閉鎖して第 2 劃壁 (6) を構成し、其の内部に壓搾空氣を送つて内部の流動體を排除せしめ、透孔 (4) より突桁杭を地中に突入せしむ方法であつて、基礎體に透孔を穿つを以てこれより浸入する流動體が荷重の一部に代用せられて沈下作業を容易ならしめ、且つ突桁杭は豫め地盤の良好なる所に突没せしむるを以て沈下の防止に有效である (第 4 圖、第 5 圖参照)。

第 5 圖

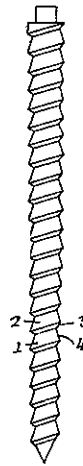


被壓圈擴大杭

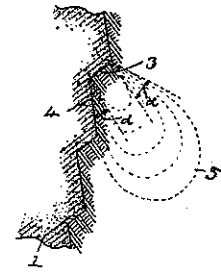
(特許第 109955 號 出願 9-7-7)
(特許權者 (發明者) 柳生義郎)

此の發明は、杭の表面全長に亘り、螺旋狀突條を形成して壓力擴大面即ち力球根發生面 (3) と接球面 (4) とを形成し、土質の性能に應じて、之等兩面間の夾角をして、其の土壤の壓力擴大角 (d) と相適合するやうに決定してなる杭であつて、其の目的とする處は、杭の周圍の土壤中に壓力を局部的に集中せしめないやうに全長に亘つて最大被壓圈を發生せしめて、杭の土壤に及ぼす壓力強度を極力低下せしめんとするものである (第 6 圖、第 7 圖参照)。

第 6 圖



第 7 圖

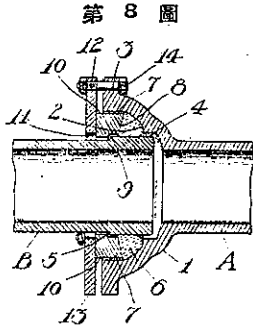


耐震接手

(特許第 110069 號 出願 8-12-2)
(發明者 久保田藤三 特許權者 株式會社隅田川精鐵所)

此の發明は、外方に向つて擴開せる斜面 (2) を有する承口 (A) に、隆起部の外周が短圓筒狀面を呈してゐる挿口 (B) を挿込み、上記の斜面和短圓筒狀面との間に、固有形狀が圓形斷面のゴム填環 (6) を介入せしめ其のゴム環には、内面に前記の隆起部の後端面を掛合する段部 (9) を有し而も先端が圓錐凹面狀を呈してゐる 2 つの割押金具 (10) を衝當て、更に押金具に蛇の目狀圓盤 (13) を當てた儘、圓盤と承口とを螺桿に依

つて締付ける接手であつて、挿口のゴム環に對する接觸位置が深淺自由なるを以て屈曲的聯接に適應し易き特徴がある(第8圖参照)。



軌條及車輪の磨耗防止方法

(特許第 110177 號 出願 9-4-13
發明者 齋藤省三, 山本信公 特許權者 住友製鋼所)

此の發明は、軌條及び車輪の接觸部を構成する物質よりも軟質であつて、乾燥後非潤滑性薄膜を構成すべき物質を其の儘又は溶劑で稀釋又は溶解したものを、軌條面に塗布する方法であつて、之に依り軌條及び車輪の接觸面に於ける摩擦を殆ど減少する事なく、しかもその磨耗量を減少せんとするものである。

軌條用非潤滑性磨耗防止劑

(特許第 110178 號 出願 9-4-13
發明者 齋藤省三, 山本信公 特許權者 住友製鋼所)

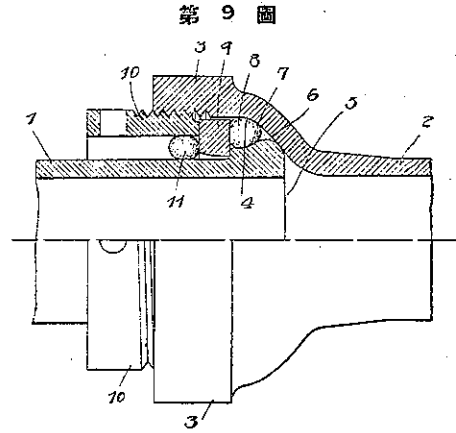
此の發明は、軌條及び車輪の接觸部を構成する物質よりは軟質であつて、夫れ自身潤滑性のない物質の粉末を媒劑と混和して成る防止劑である。

管の接手の改良

(特許第 110104 號 出願 8-11-22
發明者 仲田聰治郎, 濱川雅衛 特許權者 東京市)

此の發明は、承口(3)の斜面(4)と挿口(5)に於ける隆條(6)の外圍なる斜面(7)との間に挿入したる漏出防止用ゴム輪(8)をして、承口(3)の口端内面と挿口(5)に於ける隆條(6)の内方なる管邊外面との間に適合すべき割止め輪(9)を隆條(6)に達する程度

に挿入することに依り、夫以上に壓迫することなからしめ、且つ割止め輪(9)を進出せしむる爲に、承口(3)に結合せしめた押輪(10)の内面と管邊外面との間に汚水浸入防止用ゴム輪(11)を挿入した接手である(第9圖参照)。



列車進行指示機 (特許第 110174 號 出願 9-8-7)

特許權者(發明者) 永見寛二。

硬質屈曲セメント管製造法 (特許第 110150 號
出願 9-1-17 特許權者(發明者) 秋田親二)

軌道車輛用自驅動入換車 (特許第 110254 號
優先權主張 8-3-17 特許權者(發明者) ハイソリック・クリスチャンゼン)。

附：登録實用新案

金網蛇籠 (第 204029 號 公告 9 年 12272 號 實用新案權者 西島卯市)

枕木緊締線 (第 204039 號 公告 9 年 13003 號 實用新案權者 玉井治藏)

不凍給水栓 (第 204096 號 公告 9 年 13312 號 實用新案權者 合資會社齊藤鐵工場)

調節式建築用支柱 (第 204097 號 公告 9 年 13050 號 實用新案權者 大倉土木株式會社)

鐵管接合器 (第 204120 號 公告 9 年 14369 號 實用新案權者 久保田權四郎)

鐵管接手 (第 204121 號, 第 204122 號 公告 9 年 14171 號, 9 年 第 14172 號 實用新案權者 久保田權四郎)

測量杭頂面金具 (第 204126 號 公告 9 年 13783 號 實用新案權者 島岡信治郎)

コンクリート杭築造用外管 (第 204216 號 公告 9 年 13503 號 實用新案權者 小倉與七郎)

組立式鐵筋コンクリート矩形渠 (第 204291 號 公告 9 年 10081 號 實用新案權者 松下直茂)

枕木用表示釘 (第 204380 號 公告 9 年 14804 號)

實用新案權者 小西政敬

可撓管接手 (第 204381 號 公告 9 年 14163 號 實用新案權者 久保田權四郎)

軌條枕 (第 204453 號 公告 9 年 12253 號 實用新案權者 木全考三)

軌條絕緣繼手 (第 204530 號 公告 9 年 12660 號 實用新案權者 片倉製絲紡績株式會社外一名)

法留鐵線籠 (第 204551 號 公告 9 年 14982 號 實用新案權者 萩原俊一)